

大いなる飛躍へ

JA上川中央



JA上川中央女性部 フレッシュミス

後列左から 部員 陰山聖子さん・副部長 渡辺志穂子さん

前列左から 陰山蒼太くん・渡辺彰くん・渡辺あきほちゃん

2016

NO.97

4

発行・上川中央農業協同組合

愛別町本町 125

Tel(01658)6-5315

URL <http://www.ja-kamikawa.or.jp/>

編集・営農部 営農振興課



平成27年度JA上川地区青年部協議会道外視察研修報告

JA上川中央青年部愛別支部 高田峰雄・成田真市・佐々木孝志

2月9日～12日でJA上川地区青年部協議会の道外視察研修に参加させて頂きました。

〈1日目〉

福岡県～福岡農産物通商株式会社

代表取締役からTPP対策も含めて農畜産物の輸出の実態等について説明していただき、意見交換を実施しました。

〈2日目〉

大分県～クヌギ林とため池がつなぐ国東半島・宇佐の農林水産循環〈世界農業遺産〉

効率的な土地・水利用が実施され、豊かな農村文化が形成されている国東半島宇佐地域では、豊かな農林産物と生態系をもたらすクヌギ林とため池による循環型農林業が行われていました。

世界農業遺産登録にいたる経過やそれによる効果等の説明をいただき、意見交換を実施しました。



『世界農業遺産大分サイトに関する取り組み事業について』
大分県農林水産部農林水産企画課(世界農業遺産推進班)

〈3日目〉

熊本県～阿蘇の草原の維持と持続的農業〈世界農業遺産〉

世界最大級の阿蘇のカルデラ周辺に広がる草原の持続的な活用を通じた循環型農業の結果、自然環境が保全されていました。

世界農業遺産登録にいたる経過やそれによる効果等の説明をいただき、意見交換を実施しました。

また、懇親会ではJA阿蘇青壮年部との懇親会が

実施されました。10年以上前から交流事業を続けており、昨年はJA阿蘇青壮年部が上川管内へ・今年にはJA上青協が阿蘇へと交流を深めました。



阿蘇草原保全活動センターにて

〈最終日〉

福岡県～JA糸島産直売所伊都菜彩

『伊都菜彩』は、平成19年4月に作られたJA糸島直営の直売所で、全国一の売上を誇っておりお客さまの多さや品数の多さに圧倒されました。

上川地区13JAで、このような直売所が作れたらと感じる研修となりました。



JA糸島産直市場『伊都菜彩』

今回、このような貴重な体験をさせていただきました関係機関各位と仲間に感謝申し上げ、簡単ではありますが、ご報告とさせていただきます。



素晴らしい味わいを… 新酒「ふしこ」を愛でる夕べ

2月20日、蔵KURARAらにて新酒「ふしこ」を愛でる夕べが開催され、愛別町内外から約200人が参加し、新酒を味わいました。

主催した「あいべつ地酒を創る会」の工藤秀男会長は「ふしこ」がこの世に出て16年。今年は品質も良く、素晴らしい味わいのあるお酒に仕上がっていると挨拶しました。

また夕べでは、新酒の他に生酒、きのご料理などを振る舞い、参加者は「お酒も、料理も美味しい」と堪能していました。



愛別町では20年ぶり…!! 北海道指導農業士・北海道農業士に認定される



2月18日、札幌市内にて平成27年度北海道指導農業士・北海道農業士の新規認定者の称号贈呈式が行われました。

次代の農業の担い手として、積極的な意欲と能力を有する者の育成指導や地域農業の振興等に対する助言・協力を行う優れた農業者を、「北海道指導農業士」「北海道農業士」として北海道が認定しております。

この度、愛別町から指導農業士に鉛口裕二さん（金富地区）、農業士に高田峰雄さん（愛山地区）が、新たに認定されました（愛別町で認定されたのは20年ぶり）。また、指導農業士として長年活動されました藤原幸子さん（協和地区）に対し、知事より感謝状が贈られました。



道内でトップの生産量「エノキタケ」… あぐり王国北海道が愛別町ロケ…

HBCにて3月5日（土）午後5時より放送分の『森崎博之のあぐり王国北海道』の、テレビ番組ロケが愛別町で行われました。

過去に何度か愛別町ロケが行われていましたが、今回の取材先は農事組合法人ヒットです。

対象食材は道内でトップの生産量を誇る「エノキタケ」です。生産過程や歴史・収穫体験などエノキ茸培養センターにてヒットの西村和美さんに説明していただき、脇役の印象の強いエノキタケを主役にしたキノコご飯を試食しました。

このテレビを見て、愛別町産きのこを食べたくなるお客様がもっと増えることを期待しております。（撮影：HBC）





JA上川中央青年部愛別・上川支部定期総会

3月1日、JA本所大会議室においてJA上川中央青年部愛別支部の定期総会が開催されました。

今回の役員改選では、監事が中山英人さんから沼田義弘さんに変わり、その他役員は留任されました。

また、3月17日JA上川地区青年部協議会定期総会において、愛別町字中央地区 成田真市さんが副会長に留任されました。



JA上川中央青年部愛別支部役員体制

部長/高田 峰雄 監 事/木戸場春助
 副部長/鉢呂 健人 監 事/沼田 義弘 新任
 副部長/水谷 雅仁

JA上川地区青年部協議会役員

副会長 成田 真市

3月24日、上川町「あかし」においてJA上川中央青年部上川支部の定期総会が開催されました。

今回の役員改選では、メンバーの変更はありませんでしたが役職の変更があり、改めてやる気あふれるメンバーを紹介します。



JA上川中央青年部上川支部新役員体制

部長/古関 浩之 左下2 幹 事/水梨 弘典 左上1
 副部長/辰巳 裕亮 左下1 幹 事/清野 佳朗 左上3
 副部長/熊倉 信幸 左下3 監 事/渡辺 友章 左上4
 幹 事/溝口 和久 左上5 監 事/佐藤 直哉 左上2



JA上川中央女性部愛別・上川支部定期総会

3月7日、JA本所大会議室においてJA上川中央女性部愛別支部の定期総会が開催されました。

また、総会終了後にレクリエーションとして女子力UPのスキンケアについて、実際に商品を使用・講師による化粧の仕方など楽しみながら学ぶことが出来ました。



2月23日、JA上川支所大会議室においてJA上川中央女性部上川支部の定期総会が開催されました。

また、総会終了後にレクリエーションとして健康体操とふまねっと運動も開催され、楽しく体を動かすことが出来ました。





各団体・部会でも定期総会開催



2月29日 愛別町米麦生産振興協議会定期総会



3月9日 愛別町そ菜振興協議会定期総会



3月2日 上川町もち米生産団地組合定期総会



3月10日 上川町畑作園芸振興会定期総会

上川町もち米生産団地組合定期総会において、今年度役員改選がありましたのでご報告いたします。

組合長 石山 浩幸 監 事 福島 光雄
副組合長 藤本 博 清野 佳朗
小沢 義美

- 3/10 上川町アスパラ部会総会
- 〃 上川町南瓜部会総会
- 〃 上川町そば部会総会
- 〃 上川町大豆部会総会
- 〃 上川町トマト・ミニトマト部会総会
- 〃 上川町馬鈴薯部会総会
- 〃 上川町馬鈴薯生産組合総会

JA上川中央女性部 フレッシュミズ定期総会

3月18日、愛別町 稗人館においてJA上川中央女性部フレッシュミズの定期総会が開催され、事業報告・収支決算・収支計画および事業計画が承認されました。

今年度7月上旬に留萌・増毛方面への視察研修を計画しておりますので、多数の参加を待っています!

また、3月23日JA上川地区女性協議会通常総会においてJA上川地区フレッシュミズ部会の新役員報告が行われ、渡辺副部長が副部会長に就任されましたのでご報告いたします。

【フレッシュミズでは今、部員を大募集しております!!】フレッシュミズはJA女性組織世代別活動のひとつです。JA女性組織の強化を図ることを目的に、文化・教育などの向上を図る活動を行っています。また、その活動に賛同される方は誰でも参加できる仕組みになっていますので、興味のある方は、JA女性部両支部事務局またはお近くのフレッシュミズ会員までご連絡お待ちしております。



今月の表紙

今月はJA上川中央女性部 フレッシュミズ副部長の渡辺志穂子さんをご紹介します。



渡辺志穂子さん

陰山蒼太くん・渡辺あきほちゃん・渡辺彰くん

- ご出身、ご結婚のきっかけは？**／出身は上川町です。主人とは小・中学校、高校と一緒にいたのですが、ほとんど話したことはなく「知ってるけど知らない人」だったのですが、20代で時々遊ぶようになり意外と気が合うことを知り…今に至ります。
- ご自身の性格は**／先の事をあまり考えない性格です。
- お子さんは？ご家庭は？**／子どもは6歳と2歳の姉弟です。姉が陽気な性格でよく家族を笑わせてくれるので、「狭いながらも楽しい我が家」だと思います。
- 好きなことは？**／最近は1ヶ月に数本しか観られていないのですが、映画鑑賞です。
- フレッシュミズ活動で楽しいことは？**／フレミズ部員になって4～5年経ち、やっと組織の流れがつかめてきた頃です。普段は直接農業に関わっていない私ですが、活動を通して環境の違う皆さんと交流し、様々なことを教えて頂ける事がとても楽しいです。
今後は、フレミズ部員さんになって間もない方、これから加入して下さる方々のサポートと、気軽に楽しく活動していける様努力していきたいと思っています。

するーらいフ 穏やかな日々

3月の頭、なぜかアーカイブス「孤立集落どっこい生きる」の番組の表題が気になった。見落とした番組などを後で楽しめるサービスである。この日のこの番組も2011年の特集番組の再放送だった。

3月は今年で丸5年を経過した、東日本大震災に纏わる書籍や番組が多い。「どっこい生きる」という表現が分からないまま番組に釘付けになった。決まり事のように津波襲来の場面から、番組は始まった。太平洋を臨む港は歌津港!ワカメ養殖で栄える良港であった。

後で地図を拡げると、そこは4年前に訪れた宮城県三陸町志津川湾とは眼と鼻の先だった。木造の家屋が漁船が、そして自動車がいよいよ住民も流された。当時の馬場中山集落の長である安部倉善、通称倉さんは呆然として海をそして瓦礫の山を眺め、途方に暮れた。

集落の集会場には200余名の住民が、着の身着のままようやく辿り着いていた。横になるのもやっとだった。港の女性達は瓦礫から食料を拾い集め、漂流して山となった古材を薪にして炊き出しを始めた。全員で空腹を凌いだ。四方を塞がれた馬場中山地区は陸の孤島になっていたのだ。1週間経過して、ようやく一筋の道が開けられた。倉さんは町の、住民説明会に出席した。仮設住宅の建設予定などが説明された。施設が建設完成するまでは、四方に点在する緊急施設での生活を懇願された。倉さんが心配したのは、一度仲間が散って避難したら集落が消えてなくなるということだった。海で生きて行く仲間達も賛同してくれた。パソコンに精通した若者に眼が行った。彼にこの集落の惨事を伝えるホームページ作成を頼んだ。

「馬場中山生活センター」が立ち上がり全国へ発信された。困窮する生活物資を依頼する画面も添付した。集落の人々がもう少し足を伸ばせる復興基地建設案も打ち出した。なんと集会場の前庭に、広さ70坪の復興基地建設部材が届けられた。福井県のボランティア団体からだった。ホームページには馬場中山のその日その日の出来事が打ち込まれ発信された。善意への感謝の言葉と変化してゆく集落の風景も添えられた。発信に応じて簡易風呂も届けられた。津波襲来からお預けになっていた入浴に、住民は子供のように喜んだ。

倉さんは結集する住民の糧を考え始めた。海に沈む車両や船の引き揚げ作業を若者達に託した。ホームページではワカメ養殖に不可欠な5トンクラスの漁船を求め一文が盛り込まれていた。若者達は居ても立っても居られず、中古船探しに北海道まで足を伸ばした。

平行して物色していた仮設住宅予定地は実現しなかったが、住民達は諦めず、散在するであろう仮設住宅を結ぶ道路を計画した。地権者に理解を求め木立の森を切開いて行った。

これも善意を募った結果であった。全国から重機が集結しエンジンを唸らせ、砂利を積んだ何台ものトラックが集落へ参上した。真新しい砂利を敷き詰めた林間道路が誕生した。

「未来道」と名付けられた。集落の住民と協力した者全員で開通式が執り行われた。そしてホームページで探していた中古の漁船購入の話が纏まった。漁師達で塗装を施し「福福丸」と名付けられたその船は、津軽海峡の波間を越えて宮城歌津の港に横付けされた。

津波に親を飲まれても尚、倉さんは奔走し続け「どっこい生きている」精神を馬場中山集落に残した。5年目の3月11日を迎えた。

東北の人々の真の心の底の傷は重く深い。



Information

○総務部総務課よりお知らせ

総務課窓口にて取扱しておりましたJR乗車券Sきっぷフォー（旭川⇄札幌）について、3月25日JR北海道での販売終了に伴い、取扱を終了させていただきます。

なお、旅行等の予約については、今までどおりの取扱となります。

○営農部営農振興課よりお知らせ

離農や経営継承を考えている方は、農業者年金の案内や税制等説明させていただきますのでJAへご相談ください。

相談窓口：営農部営農振興課

○購買部購買課（給油所）よりお知らせ

日頃、給油所事業をご利用いただきありがとうございます。

給油所では現在、店頭給油ご利用の皆様にお楽しみカードを実施しておりますが、5月からポイントカードに変更を予定しております。詳細については、5月発行の農協だよりに掲載させていただきますのでよろしくご願いたします。

○平成27年度北海道農協資格認定試験

職員資格認定試験に7名・内部監直士検定に1名が合格!!

上 級		中 級	
内部監直室 内部監直係	係長 西村 賢吾	金融部 金融共済課 金融共済係	塚本 彩香
金融部 金融共済課	課長代理 高橋 勝彦	金融部 金融共済課 上川支所 金融共済係	川村ゆきえ
営農部 営農振興課 上川支所 営農振興係	端場 亘	営農部 営農販売課 上川支所 営農販売係	平澤 憲吾
初 級		農協内部監直士検定	
購買部 購買課	愛別給油所係	橋本 宏希	営農部 営農販売課 営農販売係
			係長 渡辺 武文



フォークリフト運転技能講習の受講希望取りまとめについて



当JAでは平成24年度より2年周期での受講とりまとめを実施しております。

愛別・上川両地区へ別途ご案内し、愛別地区については農事実行組合長へ・上川地区についてはJA上川支所営農振興課へ受講申込みいただきますようお願いいたします。

取りまとめ後、受講者へは別途申込書等送付させていただきます。

なお、最低受講者人数に満たない場合は実施できませんので申し添えます。

1. 実施時期 平成28年6月27日（月）～30日（木）
2. 実施場所 JA上川中央 本所 色選敷地内
3. 申込期日 平成28年5月31日
4. 講習内容
 - 1) 31時間コース 4日間 学科7H 実技24H
普通、中型、大型、大型特殊（限定あり）免許所有者
 - 2) 11時間コース 2日間 学科7H 実技 4H
 - ①大型特殊免許（限定なし）所有者
 - ②普通、中型、大型、大型特殊（限定あり）免許を有し、小型フォークリフト特別教育終了後、最大荷重が1t未満のフォークリフトの業務経験が3ヶ月以上ある方（特別教育修了証、事業主経験証明必要）
5. 費用

31時間コース	受講料	49,840円	テキスト代	2,160円
11時間コース	受講料	20,840円	テキスト代	2,160円
6. 受講人員 11・31時間コース併せて最低10名

第28回JA北海道大会 パネルディスカッション
所得増につながるより強固なプラットフォームへ
平成30年にむけて激論を

株式会社セイコーマーケット社長 丸谷 智保氏

JA北海道大会で開催した
パネルディスカッションでパ
ネリストの皆さんから提言頂
きました「北海道農業とJAグ
ループに期待すること」をシリ
ーズで紹介しします。



丸谷 智保氏

(まるとに) ともやす

株式会社セイコーマーケット社長

第2回は、丸谷智保氏の提言
を紹介しします。

流通機構、構造を簡素化し

て中間マージンの排除

セイコーマーケットグループ全
体で農業法人として108h
aを耕作しているが、農業にお
ける流通機構、構造をより簡素
化して、中間マージンを排除
し、農業所得に振り向けること
が重要だと思ふ。

そのためのより強固なプラ
ットフォーム(基盤)として、
農協あるいは中央会の必要性
はより強まっている。

それから、例えば、簡素な、
効果的な流通機構という点に
ついては、歩留りを上げるため
非正規品、ハネものが流通する
市場をつくる。常に苦労する歩
留まり向上にどれだけ繋がる
マーケットを創造できるか。

海上輸送の効率化

我々も物流には苦労してい
る。遠い農村から市場の都市あ
るいは首都圏へ物流するコス
トは非常に大きい。北海道は、
どうしても海上輸送が必要に
なるが、これを効率化する。

そういう意味でも組織の意
味は強い。効率化を進めること
で、所得を増加させ、配分を変
えていく。

また、プラットフォームであ
る農協が商品の価格を評価し、
即買い取り、即支払う仕組みを
作ってはどうか。資金繰りの向
上につながる。

その他に、農繁期の人材の確
保、販路拡大。これらは今でも
やっているが、より強固にして
いく。

そして安定供給、物流面での
大胆な提言、これは政府に対し
てもやっていく。こういったこ
とをすべき組織としてより強
いものを作っていったらどう
か。

戦から外交戦略へ

平成30年に向けて激論を
し、結論を出してほしい。もう
その時期に入っている。これか
ら平成30年の大会に向けて、
守るとか防衛するという戦を
するのではなく、外交戦略・外
交交渉をすべきではないか。

戦と外交の違いは、戦は勝つ
べき戦だが負けるかもしれない
。外交は100%はとれない
が、最低限守るべきものは守
る、あるいは主張すべきものは
主張してとる、ということ。

そういったことを踏まえた
真摯な議論・激論、そして結論
を出すことをご提言申し上げ
たい。



今回、所得増の具体的な数値
目標を掲げたのは素晴らしい。
議論を尽くして、2つでも3つで
も具体論に結び付ける。やっ
て、だめだったらまたやる。

物流を見直す、法律化する、
政府から引き出す。例えば、農
産物を運ぶのに高速道路を使
えばタダにする。フェリー代を
安くすれば、競争力のある農産
物をもっと本州に出せるかも
しれない。所得の分配に結び付
く具体的な議論をして一致団
結してぶつける外交交渉に入
っていくべきではないか。

最後に一言

セイコーマーケットでは、ほとん
ど北海道の原材料、農産物を使
っており、大地の恩恵をものす
ごく受けていると感じる。北海
道は特別な地域だが、中央で
は、ひとくくりで見られてい
る。550万人のサポーターを
味方につけて、北海道から日本
全国の農業の重要さを、ぜひ組
織力を発揮して発信して頂き
たい。

営業日	資 材		給 油 所	
	(本所・支所)	機械センター	愛 別	上 川
4月25日(月)	通 常 営 業			
4月26日(火)	通 常 営 業			
4月27日(水)	通 常 営 業			
4月28日(木)	通 常 営 業			
4月29日(金) 【昭和の日】	休 業		8:30~17:30迄	8:00~18:00迄
4月30日(土)	8:30~12:30迄	8:30~12:30迄	8:00~18:30迄	8:00~19:00迄
5月 1日(日)	休 業		8:30~17:30迄	8:00~18:00迄
5月 2日(月)	通 常 営 業			
5月 3日(火) 【憲法記念日】	8:30~12:00迄 (日直対応)	8:30~12:00迄 (日直対応)	8:30~17:30迄	8:00~18:00迄
5月 4日(水) 【みどりの日】	8:30~12:00迄 (日直対応)	8:30~12:00迄 (日直対応)	8:30~17:30迄	8:00~18:00迄
5月 5日(木) 【こどもの日】	8:30~12:00迄 (日直対応)	8:30~12:00迄 (日直対応)	8:30~17:30迄	8:00~18:00迄
5月 6日(金)	通 常 営 業			



パズル? 頭の体操

1	6	8		16	19
2				13	
		9	10	17	
	7			14	
3			11		20
4				15	18
5			12		

タテのカギ

- 危険を感じると切って逃げるトカゲもいます
- 腕に—をかけて料理を作った
- 鶏の頭に付いています
- ビール原料によく使われる穀物
- ホーホケキョと鳴きます
- スピードを上げること
- 日本風の料理のこと
- 話し声が周囲にすっかり漏れている状態
- 緊張したときにゴクリと飲み込む
- 髪をとかすのに使います
- この上で白い石と黒い石が戦います

ヨコのカギ

- 4月29日は国民の祝日、—の日です
- さおやリアル、浮き、糸など
- ななつ、やつ、ここのつ、—
- お坊さんの作業着 それ以外の人も普段着として着ることがあります
- 玄関や金庫の扉に掛けるもの
- 山菜をたくさんもらったので、隣近所へ—した
- えんべらがある生き物
- 髪をとかすのに使います
- チョークで字や図を描きます
- 時代劇の俳優はたいいてい頭に着けています
- のクローバーは幸せを呼ぶそうです
- 真珠を数えるときに使う言葉
- 琵琶湖の—はオオナマス?

JAのあゆみ 3月

- 1日 JA青年部愛別支部定期総会
- 2日 JA青年部上川支部定期総会
- 4日 上川町もち米生産団地組合定期総会
- 7日 第2回定例理事会
- 8日 JA女性部愛別支部定期総会
- 9日 第2回企画会議
- 10日 上川町農民連盟代議員会
- 11日 上川町大根生産組合交流会
- 12日 愛別町蔬菜振興協議会総会
- 13日 上川町大豆部会定期総会
- 14日 上川町燗作園芸振興会定期総会
- 15日 上川町燗作園芸振興会定期総会
- 16日 愛別町米麦生産振興協議会役員会
- 17日 地区別懇談会(中央地区)
- 18日 地区別懇談会(協和地区)
- 19日 地区別懇談会(厚生・伏古地区)
- 20日 地区別懇談会(愛別地区)
- 21日 地区別懇談会(愛山地区)
- 22日 地区別懇談会(豊里地区)
- 23日 JA青年部上川支部役員会
- 24日 地区別懇談会(越路・白東・白川地区)
- 25日 地区別懇談会(菊水・旭ヶ丘地区)
- 26日 地区別懇談会(共進地区)
- 27日 地区別懇談会(東雲地区)
- 28日 JA女性部フレッシュミニ支部定期総会
- 29日 地区別懇談会(金富地区)
- 30日 国営緊急農地再編整備事業推進協議会幹事会
- 31日 表・大豆栽培講習会
- 32日 内部審査協議会監査(総務)24日
- 33日 大根生産組合総会
- 34日 JA青年部愛別支部例会
- 35日 愛別町農民連盟定期総会
- 36日 国営緊急農地再編整備事業推進協議会役員会
- 37日 愛別町農業用機械利用組合連合会役員会
- 38日 第8回通常総会
- 39日 第2回臨時理事会

第2回定例理事会

平成28年3月4日開催

- 報告事項
- 1 役員報酬審議会の答申内容について
2月22日に開催された役員報酬審議会においての答申内容を報告した。
 - 2 決算手当の支給について
支給金額について報告した。
 - 3 平成28年度監査計画について
監事会より平成28年度の監査計画について報告された。
 - 4 農家経済対策委員会の報告について
2月27日開催の委員会内容を報告した。
 - 5 J.Aバンク基本方針の報告について
農林中央金庫が定める「J.Aバンク基本方針」の変更内容を報告した。
- 議事
- 1 平成27年度決算並びに剰余金処分案について
平成27年度の決算承認と剰余金処分案として、内部留保の他出資配当を行うことが承認された。
 - 2 平成27年度決算監査の結果並びに決算監査報告の承認について
平成27年度の決算監査における監査報告が監事よりなされ承認された。
 - 3 平成27年度部門別損益計算書の承認について
平成27年度部門別に対する配分方法並びに配分内容について承認された。
 - 4 平成28年度事業計画について承認された。
平成28年度の事業計画について承認された。
 - 5 第7回通常総会の開催日程について
平成28年3月31日午前9時30分より愛別町総合センターにて開催されることが承認された。
 - 6 総会事務取扱「議決権行使にあたっての留意事項」について
提出期限を3月30日の午後5時30分と無効等の扱いについて承認された。
 - 7 規程の一部改正について
信用事業規程並びに職制規程の変更について承認された。
 - 8 平成28年度対策対象農家の選定について
2月27日開催の委員会に基づき、対象農家の選定内容で承認された。

第1回臨時理事会

平成28年3月11日開催

- 報告事項
- 1 組合員の脱退について
1件の脱退について報告した。
 - 2 固定資産の取得について
金融共済課(支所)の人替による車輛の取得について報告した。
- 議事
- 1 組合員の相続並びに譲渡について
1件の譲渡が承認された。
 - 2 組合員の加入報告並びに組合員資格について
2件の加入が承認された。
 - 3 第3次中期経営3カ年計画について
平成28年から平成30年度の3カ年計画について承認され、総会議案提出することとした。
 - 4 平成28年度コンプライアンスプログラムの設定について
3月7日開催のコンプライアンス委員会で決定された内容について承認された。
 - 5 規程の一部改正について
職制規程別表3職務権限の一部改正について承認された。
 - 6 長期資金の融資について
1件の融資について承認された。
 - 7 農業協同組合の検査に係る回答書の提出について
行政庁へ提出する回答内容について承認された。

組合員のうごき

(平成28年3月11日現在)

正組合員戸数	379戸
総組合員数	2,626名
正組合員数	589名
うち団体数	34団体
准組合員数	2,037名
うち団体数	69団体

改めまして 宜しくお願いします

正職員 ↓ 臨時職員
長谷川 和彦

営農部営農販売課
営農販売係
※定年退職による
(4月1日付)

パズル? 頭の体操

1	モ	モ	ソ	ク	タ	ツ
2	チ	ン	レ	ツ	イ	チ
3	ツ	メ	ギ	ボ	シ	
	キ		ヒ	ヨ	ウ	ト
4	モ	ミ	ト	ウ	オ	リ
5	ウ	ズ	マ	キ	ギ	フ

解答	A	B	C	D	E
	ヨ	モ	ギ	モ	チ

先月号の 答え